

MECC だより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 2003年3月 第2号

解説

転機にある環境行政

特定非営利活動法人

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会

理事長 富川 昌美

平成15年を境にして環境省の環境保全活動方針および環境カウンセラーを取り巻く状況は目まぐるしく変化しております。

1. 環境保全活動法の制定

環境省は平成14年4月、中央環境審議会に対して「環境保全活動の活性化方策について」諮問し、総合政策部会が審議してきました。同部会では審議の結果を第7回総合政策部会(9月)に「地域環境力創造戦略(案)」を提出、環境カウンセラー制度の見直しなどを含めた提言がなされました。これについては個人、団体から意見を求めるとともに全国で意見交換会が開催され、東京では11月7日、環境省において、多数の環境カウンセラーが出席して開催されました。MECCからは富川理事長、藤井副理事長が文書による意見具申を行いました。この提言書は人材の育成、拠点の提供(地域環境保全活動センター)の整備、情報、資金の提供、ネットワーク構築援助など、今までにない内容をもった「環境保全活動法(仮称)」として制定される運びになっていました。が、この戦略策定の裏では「環境カウンセラー制度の解体」などが検討された時期もあり(ECUによる環境省への説明で白紙撤回となりましたが)、重要かつ危険な段階を通り抜けたと言えます。しかしなが

ら2月に入ってまた新たな動きが出てきました。それは環境省の新法案に文部科学省の環境教育法案を合体して「環境保全・環境教育推進法案」を議員立法の形で今国会に提出しようとするものです(2月6日、読売朝刊)。すなわち「NGOなどの環境保全活動を支援し子どもたちが環境について学ぶことを促す」とあり、詳細は不明ですが上記の「地域環境力創造戦略」の流れを引き継いだものといえます。いずれにせよ当分目が離せません。

2. エコアクション(EA)21の見直し

全国700万といわれる中小事業所を対象にした環境活動評価プログラム「エコアクション21」が設定されたのが平成8年、漸く環境省/全国環境保全推進連合会を中心にした活動が定着し、実施体制としての各地の環境カウンセラー協議会の実績も徐々に評価されるようになってきました。一方でグリーン購入法の制定に伴って大企業による納入企業への環境活動評価プログラムの要請指向が強まるとともに内容の見直しの検討が始まりました。見直し自体は進歩ですが、京都方式(KES)や各自治体独自のプログラムとの相互認証、インストラクターの審査員資格(試験)が論じられ、限りなくISO14001に近くなった場合、当初の「中小企業むけ」というスタンスと乖離していくことが懸念されています。ECUでは環境省とは別個に研究会をもち、適宜、環境省の委員会に提言を行なってきましたが、平成15年2月、いよいよ最終段階に入ったようで今後大幅な改正が予想されます。

3. 新年度に向けての助走

その他、私たち MECC にとっては、全国的な規模での展開が予想される PRTR(有害物質の排出・移動規制)法への対応や多摩地区自治体の環境保全活動への協力など多くの課題が山積しています。これらは新年度(平成15年度)の事業計画として実現していくこととなります。

主な活動記録

1. 月例会議

MECC では毎月第1月曜日、午後6時半から武蔵野市吉祥寺の本町コミュニティセンターにおいて定例会合を開催しています。内容は全国連合会を通じての環境行政の動向情報、関東連絡会、東京連合会出席者からの関連協議会の活動状況情報報告および会員の活動情報の交換ですが、毎回10人前後の参加があり、極めて有益です。遠方の方や現役の方には出席が難しいかも知れませんが、情報の入手、研鑽のためには〔月例報告書を除けば〕唯一の機会ですので是非ともご出席されるようお勧め致します。

2. 武蔵野市環境講座

平成14年9月30日と10月10日、武蔵野市の依頼によって「環境活動評価プログラム」講座を開催しました。武蔵野市における環境講座は数度の実績がありますが今回は一般市民でなく市内の中小規模の事業者を対象にしてISO14001よりも簡易で取り組みやすい環境活動評価プログラム〔エコアクション(EA)21〕の実施の為に入門講座となりました。環境マネジメントの必要性、ISO14001との比較などについては前回の講座で解説しており、今回はモデル企業を例題にした演習を主体に実施しました。MECCメンバーの多くはEA21の指導者〔インストラクター〕講習を受けており本講座への協力はMECCとしての能力発揮のチャンスでした。藤井副理事長をプロジェクトリーダーとし、9人のメンバー(阿部、石田、糸井、川真田、林、松島、御船、富川)が担当

しました。6回の準備会合で講座内容、モデル企業のデータ作成、演習方法などを検討し、カリキュラムを作成しました。講座の出席者は28社・38人と予想を上回る盛況となり、関心の高さがうかがわれました。今回、演習は4~5人の小グループに分け、環境行動計画の作成と発表までを行いました。例題を十分理解し討議するには時間が短かった他、例題のモデル企業のデータ不備、インストラクターの不慣れなど反省点はありましたが参加者の反応は良好で、この事業者向け環境指導は市の構想に従って新年度からは新しい構想で継続して行くこととなります。

3. 環境教育・環境学習指導者養成セミナー

環境カウンセラー全国連合会(ECU)の平成14年度企画事業として環境教育に関するセミナーが全国5ヶ所(埼玉、千葉、福島、岡山、東京)で実施され、東京は2月15日、セッション並での開催でした。会の運営は杉並協議会が担当、コースの午後の部分は東京連合会環境教育委員会が仕切って、成果報告(ホームページの活用法)、ワークショップを行いました。当初の予想を大きく上回った140人の参加に多少の混乱はありましたがワークショップはMECC・糸井理事の司会・進行によって好評でした。青森から鹿児島に至る全国からの参加者で熱気に溢れ、地球温暖化における原子力発電の功罪、プレゼンテーション中のデータ取り扱いのスタンスなど、東京ならではの雰囲気でした。このような熱気溢れる場所を設定できたことは成功といえますが、参加者中、環境カウンセラーを上回る一般市民・市民運動家、教育関係者を今後どのように巻き込んで行くかが重要な課題であることを考えさせたセミナーでした(MECC出席者:富川、石田、泉、糸井、宇野、川真田、坂井、出口、松島)。東京会場のプログラムを記します。(次ページ参照)



「環境教育・環境学習指導者養成セミナー」【東京会場】

主催：環境カウンセラー全国連合会 東京環境カウンセラー団体連合会

共催：杉並区・東京都

〔午前〕

開会挨拶 東京連合会 会長 鈴木富雄

杉並区挨拶 杉並区環境課長 上原和義

セミナー開催にあたって

全国連合会 常務理事 富川昌美

環境教育の進め方

全国連合会 会長 先崎 武

地球温暖化とライフスタイル

埼玉環境カウンセラー協会 秋元智子

ごみ問題へのアプローチ

全国連合会 常務理事 富川昌美

〔午後〕

環境教育支援ホームページの活用

東京連合会環境教育委員会委員長 小林 料

ワークショップ「環境教育の計画作り」

東京連合会 理事 糸井 守

インストラクター認定制度について

全国連合会事務局 秋元智子

閉会挨拶 東京連合会 副会長 富川昌美

懇親会

なおセミナー全体の状況は次号の MECC により報告致します。

環境学習指導者養成セミナー



環境教育セミナー（東京会場）

開会挨拶



熱気むんむんの会場風景

4. 研究会・勉強会

MECC および東京連合会、関東連絡会では下記の会合を定期的〔原則・月例〕に行なっています。全ての会員に開放されていますので奮ってご参加ください。場所、時間等については幹事にお問い合わせ下さい。

(1) PRTR (化学物質管理) に関する勉強会 (MECC)

有害化学物質による被害が続出している現状に鑑み、有機洗剤のみならずガソリン、灯油などの燃料を扱っているクリーニング店、ガソリンスタンド、銭湯などの小規模事業所でも化学物質の管理〔排出、移動、処分〕状況が厳しくなりました。東京都、環境省双方の基準があり、今後この方面の問い合わせが増えることが予想されます。ECU では昨年に続いて2月23日インストラクター講習会を開催しますがMECCでも協議会内に勉強会を発足させました。法令や幹事が作成したCDを使っての会合です。会場は吉祥寺・本町コミュニティセンターです。〔幹事：川真田〕

(2) 廃棄物・リサイクル研究会〔東京連合会〕

平成15年度、廃棄物に関する法律(廃掃法)の大幅改正が予定されており、従来「再生利用

する有価物」としてあいまいなままに廃棄物の対象から除外されて、不法投棄の元凶となっていた問題点などが厳しく論議されており、リサイクルの定義も変わるといわれています。東京連合会では主として法整備の点から勉強会をしてきましたが、今年から自治体の実態についての議論が始まりました。場所は水道橋・小倉ビル、毎月第1土曜日9時半に開催されています。(幹事：富川)

(3) 環境教育研究会(東京連合会)

環境教育について熱心に活動しています。これまでは日立製作所の若手メンバーと一緒に環境教育支援ホームページの作成を主体に行ってきました。この成果は別掲の環境教育セミナーなどでも発表されました。会合は吉祥寺・南町コミュニティセンターです。(幹事：糸井)

(4) 関東連絡会、東京連合会定例会議

上記の会合が2,3ヶ月に1回、青山(エコプラザ)、新宿、杉並などで開催され、役員以外でも自由に出席・発言できます。他地区の活動状況の入手、ネットワーク作りには最適です。(幹事：富川、糸井)

会員の移動

入会

下田俊幸 三鷹市井口 1-15-43
0422-32-1026

〔財〕日本自然保護協会自然観察指導員
行政書士

発行者

NPO法人武蔵野・多摩環境カウンセラー
協議会 (MECC) 事務局

〒180-0014 東京都武蔵野市関前 3-6-13-201

電話・ファックス： 0422-52-5943

電子メール： tomi8mi@nifty.com